

岩津ねぎだより

令和2年7月16日
岩津ねぎ産地協議会
生産支援チーム

今年は梅雨の期間が長く、曇天と降雨が続いています。定植を終えたほ場では排水不良により水が停滞しているほ場が多く見受けられます。今後、湿害による根傷みや病気の発生となるため、しっかりと排水対策を実施してください。

① 定植ほ場の排水対策に努めましょう

雨の影響から、ほ場内が飽水状態となり、一部のほ場では谷に水が溜まっている状態です。ほ場周りの排水溝を確認し、ほ場内の水が一刻も早く排水できるように、排水溝に溜まった泥や土を速やかにさらえましょう。



排水不良によりほ場内に水が停滞している。長期間この状態が続くと根傷みを起こし、欠株や生育遅延の原因となります。



条間やほ場中央部に排水溝を設置し、排水に努めましょう。

◎大雨により冠水した際は、

Zボルドー(500倍)を散布し、病害菌や汚れを洗い流してください。

② 中耕作業で酸素の補給を

今回の降雨により、ほ場の土が硬くなり、土中の酸素不足が心配されます。

ほ場の状態を確認し、作業が可能な状態になったら、速やかに管理機で条間の中耕、除草作業を実施しましょう。



③ 定植前の苗の管理を

定植がまだのところでは、苗の肥料切れや、葉の伸びすぎが見られます。苗の色が薄くなっていれば、液肥もしくは化成肥料を適量散布しましょう。また、苗が伸びている場合は、剪葉を行い、倒伏を防止しましょう。

(長さは約12cmを目安にしてください。)



また、地床やセル苗でべと病の発生が散見されています。防除を実施し本田に持ち込まないようにしてください。

④病害虫の防除について

長雨の影響と今後の気温の上昇によりべと病や軟腐病等の発生が懸念されます。下記の表を参考に、予防的防除を行きましょう。



べと病



軟腐病



黒斑病

	薬剤名	使用倍率	病害名
予防	テーク水和剤	600倍	黒斑病、さび病、べと病
	ペンコゼブフロアブル	600倍	
	ダコニール1000	1000倍	
	アリエッティ水和剤	800倍	疫病、べと病
	ヨネポン水和剤	500倍	黒斑病、さび病、べと病、軟腐病
予防・治療	アミスター20フロアブル	2000倍	黒斑病、さび病、べと病
	リドミルゴールド MZ	1000倍	べと病

※農薬はラベルの使用基準・注意書をよく読んで使用してください。

<問合せ先>

- ・和田山営農生活センター :672-4800
- ・朝来営農生活センター :670-4341
- ・山東営農生活センター :670-7744
- ・朝来農業改良普及センター:672-6886